



児童発達支援及び放課後等デイサービス 自己評価表

|                     |   | チェック項目  | はい | どちら<br>でもない | いいえ | 工夫している点など                            |
|---------------------|---|---|----|-------------|-----|--------------------------------------|
| 環境<br>・<br>体制<br>整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか                             | ○  |             |     |                                      |
|                     | ② | 職員の配置数は適切であるか   | ○  |             |     |                                      |
|                     | ③ | 事業所の配置等について、バリアフリー化の配置が適切になされているか                       |    |             | ○   | 当事業所は、自閉症児を専門としているためにバリアフリー化まで行っていない |
| 業務<br>改善            | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか          | ○  |             |     |                                      |
|                     | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○  |             |     | 年 1 回実施                              |
|                     | ⑥ | この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか                        | ○  |             |     |                                      |
|                     | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                         |    |             | ○   |                                      |
|                     | ⑧ | 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。                            | ○  |             |     |                                      |
| 適切な<br>支援の<br>提供    | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか  | ○  |             |     |                                      |
|                     | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化された assessment ツールを使用しているか。        | ○  |             |     |                                      |
|                     | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                  | ○  |             |     |                                      |
|                     | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。                               | ○  |             |     |                                      |
|                     | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか。                     | ○  |             |     |                                      |

|              |   |  |   |   |                                   |   |
|--------------|---|--|---|---|-----------------------------------|---|
|              | ⑭   | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適時組み合わせ個別支援計画を作成しているか。                            | ○ |   |                                   |   |
| 適切な支援の提供     | ⑮   | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                       | ○ |   |                                   |   |
|              | ⑯   | 支援終了時には、職員間で必ず打合せをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                  |   | ○ |                                   | 当事業所の、児発管が各スタッフ一人一人にSV（スーパーヴァイズ）を定期的実施。     |
|              | ⑰   | 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                               | ○ |   |                                   |   |
|              | ⑱   | 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか                                   | ○ |   |                                   |   |
|              | ⑲   | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか  |   | ○ |                                   |   |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳   | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                    | ○ |   |                                   |   |
|              | ㉑   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 |   | ○ |                                   |   |
|              | ㉒   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                         | ○ |   |                                   | 保育園の園長、児童発達支援事業所の管理者等が見学に来るため、相互間で関係を深めている。 |
|              | ㉓   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか                                 |   |   | ○                                 |   |
|              | ㉔   | 自立支援協議会等へ積極的に参加しているか   | ○ |   |                                   | 管理者が子ども部会の部会長を務めたり、協議会の講師としても参加している。        |
| ㉕            | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○  |   |   | 保護者が同伴しているため、その都度本児の発達課題等を共有している。 |   |

|            |    |   |   |  |  |  |
|------------|----|---|---|--|--|--|
|            | ②⑥ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか                    | ○ |  |  | 保護者が同伴しているしているため、その都度保護者に行ってもらい褒め方、止め方を指導している。<br>その他、定期的に座談会、公衆型のペアトレを実施。 |
| 保護者への説明責任等 | ②⑥ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                   | ○ |  |  |  |
|            | ②⑦ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じて、必要な助言と支援を行っているか                          | ○ |  |  | 保護者が同伴であるため、簡単な相談であればその場で対応し、困難事例に関しては時間を取って事業所に来所、もしくはは訪問して相談支援を行う。       |
|            | ②⑧ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を適切に開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                    | ○ |  |  | 理事長が武豊町の育成会（発達・知的障がいの保護者会）の副会長を務める。それ以外に定期的に保護者会を開催する。                     |
|            | ②⑨ | 子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ |  |  |  |
|            | ③⑩ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                   | ○ |  |  |  |
|            | ③⑪ | 個人情報を十分に注意しているか   | ○ |  |  |  |
|            | ③⑫ | 障がいの子どもの保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                 | ○ |  |  |  |
|            | ③⑬ | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか                                | ○ |  |  |  |
| 非常時等の対応    | ③⑭ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                    | ○ |  |  | 全ての保護者までには周知しきれていない。   |
|            | ③⑮ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか                                 | ○ |  |  |  |
|            | ③⑯ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか                                 | ○ |  |  |  |
|            | ③⑰ | どのような場合にやむを得ず身体   | ○ |  |  | 仕組みはあるが行われたことはない。  |

|    |  |   |  |   |  |
|----|--|---|--|---|--|
|    | 拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、個別支援計画に記載してるか |   |  |   |  |
| ③⑦ | 食べ物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                     |   |  | ○ |  |
| ③⑧ | ヒヤリハット事例集に作成し、次号所内で共有しているか                                 | ○ |  |   |  |